

座る人の健康を考えたい 人にやさしい椅子

(有)平田椅子製作所

代表取締役社長 平田尚二さん

人にやさしい椅子「POSA (ポーザ)」

人間工学に基づいた、人にやさしい椅子「POSA (ポーザ)」は、平田椅子製作所の主力商品。楽天市場のパーソナルチェア(一人掛け)部門で、十一月二十五日リアルタイムランキングで一位を獲得するほどの人気だ。

POSAは平成十七年に地域産業資源活用事業計画「人にやさしい椅子プロジェクト」の認定を受け、三年を掛けて開発された。その間、佐賀大学医学部の松尾准教授のサポートをうけた。医学部学生六十人の協力を得て、座り心地、座ったときの姿勢、素材の圧力分散、蒸れ、伸縮性などの分野で試験データを取

り、解析を進めていったという。

社長の平田尚二さんは、「POSAは、体力が落ちた高齢者、体に障害をお持ちの方が、寝たきりにならず生活するうえでとても役立つ椅子だと思っています。」と話す。もっともPOSAは、快適な椅子として健常者の方にも売れているそうだ。

POSAには大きく三つの特長がある。

一つは「背もたれの張り調整機能」。これによって猫背や体のゆがみを矯正できる。「よく腰を前の方にずらす座り方、いわゆる“ずっこけ姿勢”を続けていると、脊椎が





座面と背もたれに採用した「プレスエア」座面のスプリングは「ポケットコイル」



特殊高反発素材「プレスエア」

つぶれてしまいます。腰痛が慢性化します。また肩こり、頭痛の原因にもなり、内臓疾患を引き起こしかねません。でも背もたれサポートベルトを調整することで、背もたれを体のラインにフィットさせ、背骨を無理なくS字に保つことが出来ます。個々の人に応じて細かく調整できるので。この機能は平成二十五年一月十一日に特許を取得している。



背もたれの張りを調整できるサポートベルト



S、M、Lの3つのサイズが選べる

採用している『プレスエア』と『ポケットコイル』は体圧分散性に優れ、長時間座っていられます。床ずれ防止にも効果的です。また通気性があり蒸れることがないので。座面だけでなく、背もたれにも『プレスエア』を使用しています。

三つめの特長は、三つのサイズがあること。Sサイズ(二四五cm以上二五五cm未満)、Mサイズ(一五五cm以上から一六五cm未満)、Lサイズ(二六五cm以上から一七五cm未満)となっている。「体のサイズに合った椅子は、立ち上がったたり・座ったりする動作を楽にし、体への負担を軽減させます。」

POSAのフレーム材は五色、張り地は十八種類ある。好みに応じて自由に選べる。現在「POSA座り心地お試しサービス」を実施している。全国の方にPOSAの良さを



Pisolino (ピソリーノ)

知ってもらうためだ。送料を負担するだけで、一週間お試しが出来。申し込まれた方の実に九割が購入されるそう。製品の良さがよく分かる。

もっとも、平田椅子製作所が製造販売する椅子は、POSAだけではない。カタログを見ると、たくさんの種類があるのが分かる。

その中でPisolino (ピソリーノ)に目が留まった。ピソリーノとは、イタリア語で昼寝・うたた寝の意味だ。リビングでゆっくり流れる時間を感じながらリラックスできる。フラットなソファ。畳部屋でよくやるような、寝そべったり、胡座をくんだりいろんな姿勢で使える。「畳の使用感覚で使ってもらいたい」との思いで開発しています。「明るいビビットな色合い、ファッションセンス豊かな形



工場内の様子

状で購買意欲をそそる、おしゃれな家具だ。

さて、今度は会社の特徴に話を移そう。

創業は昭和三十八年。椅子を作り続けて五十年。これまでに一、八〇〇、〇〇〇脚の椅子を製造販売してきた。

現在は、全て受注生産となっている。しかも多品種少量生産。売り上げの八割を占める関西・関東の家具店・インテリアショップ・専門店からのバラエティーに富んだ注文に対応する。「多品種少量生産によって、製品に付加価値をつけるが出来ますし、ユーザーの選択の幅を広げることになります。」

また、従業員の三分の二は若い人たち。彼らはトレンドの変化に柔軟かつスピーディに対応する力となっているそう。この点で十数年前から新規卒者を毎年採用してきた。ベテランとのバランスがちょうど良いそうだ。

ではデザインはどうしているのだろうか。平田さんと外部デザイナーの二人で行っている。

「シンブルモダンで他のインテリアとコーディネートしやすい製品を追求しています。デザインのコンセプトは『空間の中で調和する製品』です。」

海外の販路開拓にも目が向いている。現在、今年の三月シンガポールで開かれる「インターナショナル・ファニチャー・フェア 2015 / 第三十二回 アセアン・ファニチャー・ショー」に出展する予定だ。

さて、平田さんの夢は何だろうか。「メディアでは家庭が崩壊していることを示すニュースが頻繁に流れます。悲しく思います。昔のような温かい家族のぬくもり、絆を取り戻せたらと願うのです。家族のコミュニケーションを促進し、団らんを提供できる家具作りができればと思っています。そして是非若い人たちにものづくりの精神を伝承していきたいですね。また、日本の椅子文化成熟に一役買いたいとも思っていますよ。」